

【別紙様式】

令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
49	岐阜県立恵那高等学校

学校教育目標	<p>質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 確かな知識・技能を基に、社会に貢献できる人を育成する。 2 探究活動を通して、問題発見に努め、主体的・協働的に課題解決に向かう能力を培う。 3 広い視野と幅広い人間性をもった、国際感覚豊かな人を育成する。 4 地域を愛し、持続可能な地域づくりに貢献する「地域社会人」を育成する。 5 文武両道を通して、知・徳・体のバランスがとれた人を育成する。 		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる知恵をもって社会でリーダーシップを発揮する生徒 ・自ら問いを立て「探究」する生徒 ・心に故郷を抱き、世界を見据える生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い授業と「探究」する学びの提供 ・社会や自然とつながる多様な学びの場の提供 ・一人一人が輝き、仲間とつくる感動の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力と基本的な生活習慣を身に付けた生徒 ・志をもって自分を伸ばそうとする生徒 ・大学進学を目指す生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 教科教育・進路指導の充実	<ol style="list-style-type: none"> ① 高度な教育内容を維持し、リーダーとしての資質を育成します。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の大学進学希望を実現できるような授業の質を維持します。 ・「総合的な探究の時間」、「課題研究」、「ホームルーム活動」を通して、社会や未来に目を向けさせ、視野を広げさせます。 ・放課後自主講座、休日自主講座、探究活動を充実します。 ・「進路検討会」等から難関大学受験のサポート体制を充実します。 ・「進路ノート」を活用し、進路選択などキャリア発達支援を行います。 ② 学校及び家庭での学習習慣を確立させ、それを継続させるため、次の方策に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・新入生に「学習のしおり」を配付し、新入生オリエンテーションを実施します。 ・集中学習会を実施します。 ・生徒個々の課題に応じた週末課題を充実させます。（個別最適化） ・学習時間調査を実施します。 ③ 生徒自らが学習を計画的・積極的に行うことができるよう指導します。 <ul style="list-style-type: none"> ・各教科で3年間を通した指導計画（学習シラバス）を提示するとともに、定期考査、小テスト等の役割を明確にします。 ・スタディサプリを活用し、生徒に自ら学ぶ姿勢を身に付けさせます。 ④ 生徒の実態や時代の変化に応じた授業研究に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価や教員間の相互授業参観を通して、指導力の向上を図ります。 		<ol style="list-style-type: none"> ①<総合的な探究の時間のテーマ> 1年生：小論文、地域の探究 2年生：社会課題に取り組みよう 3年生：生き方我が道 〈放課後自主講座・休日自主講座・探究講座〉 生徒の学力向上や進路選択のための多様な講座を用意 ②<学習時間調査> 数値目標：1年生：2.5時間、2年生：3時間 3年生：4時間 〈週末課題〉 課題の調整、提出の確認、未提出者の指導 ③定期考査等の各種テストによる達成度の評価 〈シラバスの作成と配付〉 ④5月・11月に実施し、各教科での授業改善
2 人間教育の充実	<ol style="list-style-type: none"> ① 基本的な生活習慣の確立と定着を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・「恵那高生の品格」形成の指導を充実します。 ② 社会性の涵養とリーダーの資質の養成をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動のあらゆる場面を通して、社会に貢献することができるリーダーとしての指導力を身に付けさせます。 ③ 広く地域から愛され、信頼される、開かれた学校づくりに貢献します。 		<ol style="list-style-type: none"> ①モラル・マナーアップウィークの実施 年4回実施、事後指導の徹底 ②校内委員会活動の活性化 委員会の開催（半期5回） ③ボランティア活動の推進 HP・学校新聞等による広報の推進
3 教職員の働き方改革	<ol style="list-style-type: none"> ①勤務時間を意識した働き方を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の見直しを図ります。 ・勤務時間管理を徹底します。 		<ol style="list-style-type: none"> ①勤務時間外が月45時間を超える教職員数0 全ての教職員が年休を5日以上取得